

<日本経済の基調判断>

景気は、一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている。

企業収益は大幅に改善。
設備投資は増加。

個人消費は、このところ伸びが鈍化。

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善。

輸出、生産は弱含んでいる。

(先行き)

- ・国内民間需要の増加が続いており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。
- ・一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。

<政策の基本的態度>

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。12月3日、「改革断行予算」という基本路線を継続するとの方針を示した「平成17年度予算編成の基本方針」を閣議決定した。また、12月20日、「平成17年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議了解した。

政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行うとともに、集中調整期間終了後におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。

今月の説明の主な内容

(1) 一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかに

生産：情報化関連分野を中心に弱含み

消費：このところ伸びが鈍化

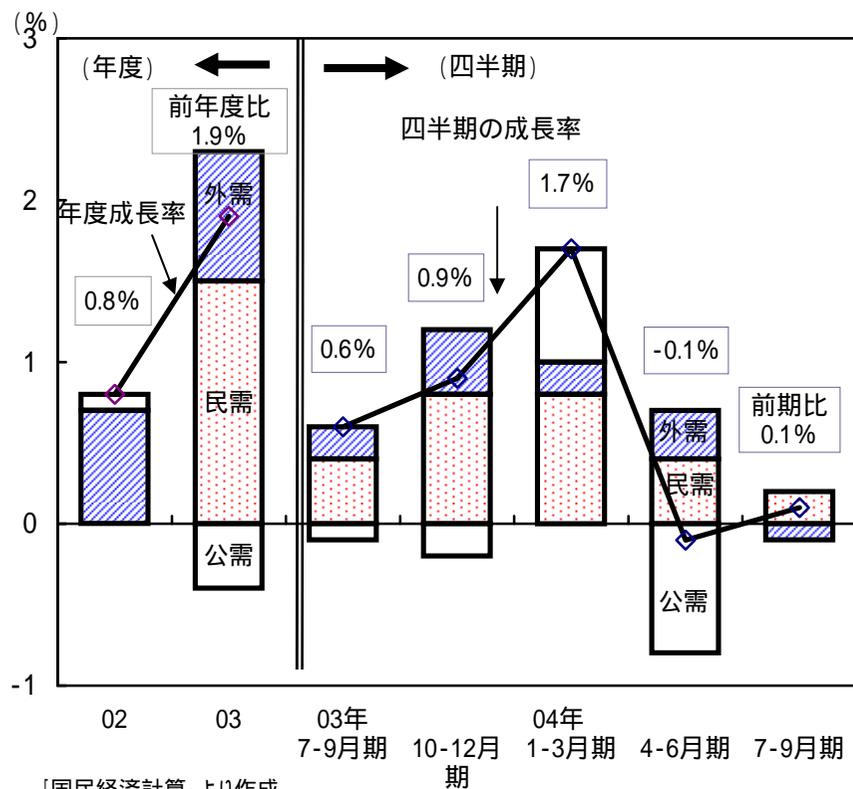
(2) トピック

金融面の動向(不良債権比率、商品先物)

2004年のヒット商品

景気は、一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている。

実質GDP成長率の推移



名目GDPを実質化するときの物価の動きを示す指標(GDPデフレーター)の見直し

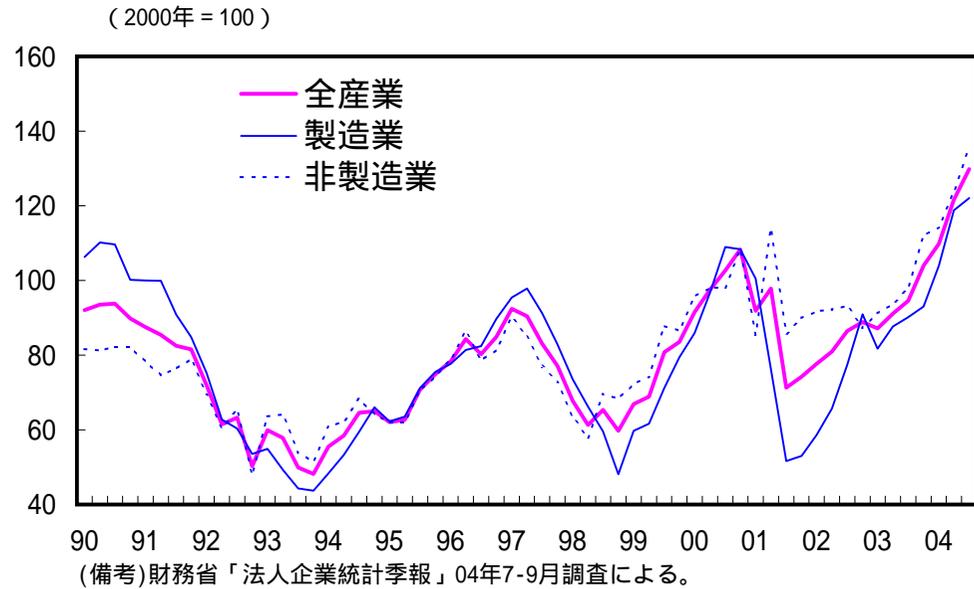
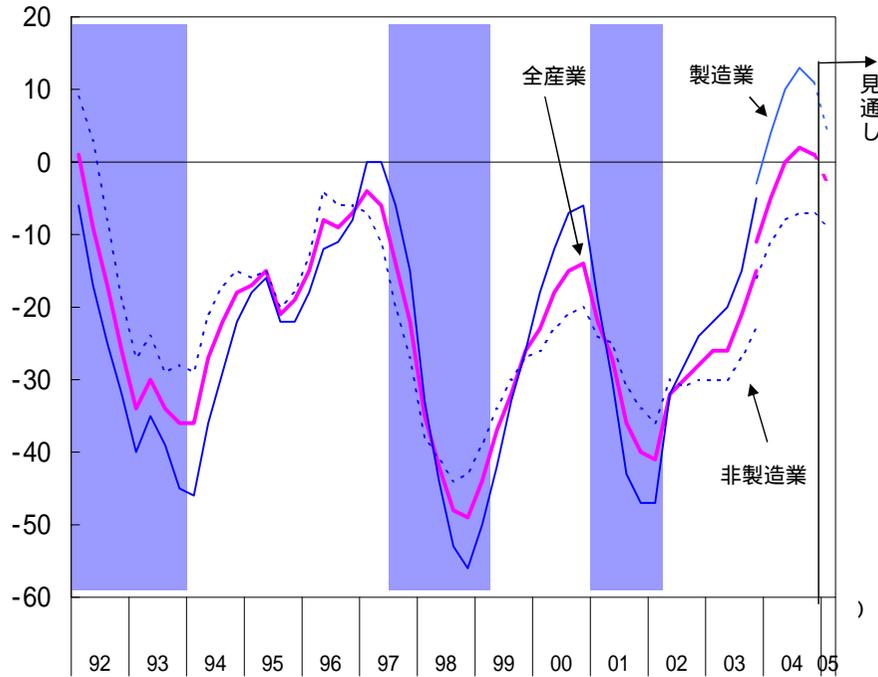
- ・ 固定基準年方式(95年)から常に前年を基準年とする方式に変更

	(旧)	(新)
2003年度名目GDP成長率	0.8%	0.8%
2003年度実質GDP成長率	3.2%	1.9%

企業部門は引き続き好調

業況感是好調。ただし一服感

経常利益は6四半期連続増益



- (備考) 1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」04年12月調査による。
D.I.は「良い」-「悪い」。
2. シャドー部は景気後退期。
3. 04年3月調査より調査方法が変更されている。

(前年同期比・%)

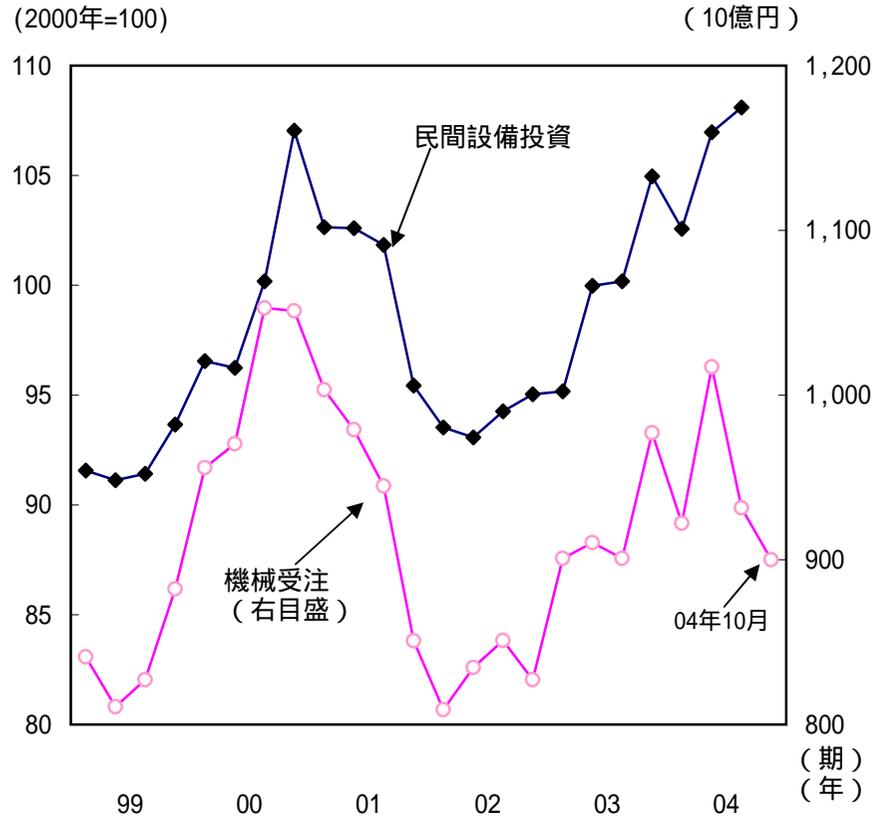
	03年度	04年度 (計画)	上期	下期
			(計画)	(計画)
全産業	14.4	15.3	32.2	2.8
製造業	23.2	24.0	38.4	12.7
非製造業	8.7	8.9	27.5	-4.2

(備考)日本銀行「全国企業短期経済観測調査」04年12月調査による。

前回調査(9月)
から下方修正

設備投資は増加している

設備投資は増加傾向

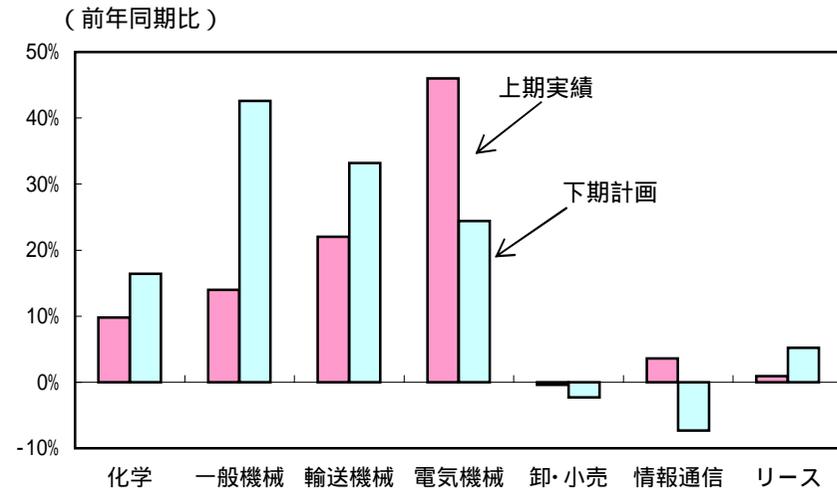


(備考) 内閣府「四半期別GDP速報」、内閣府「機械受注統計」により作成。
 機械受注は民需(除く船舶・電力)、四半期平均、04年10月のみ月次。
 季節調整値。

製造業を中心に下期も増加が見込まれる

設備投資額(含む土地投資額)	(前年度比・%)		
	2004年度 (計画)	上期	下期
全規模			
全産業	6.2	4.0	8.1
製造業	20.8	18.0	23.0
非製造業	0.4	-1.4	2.0

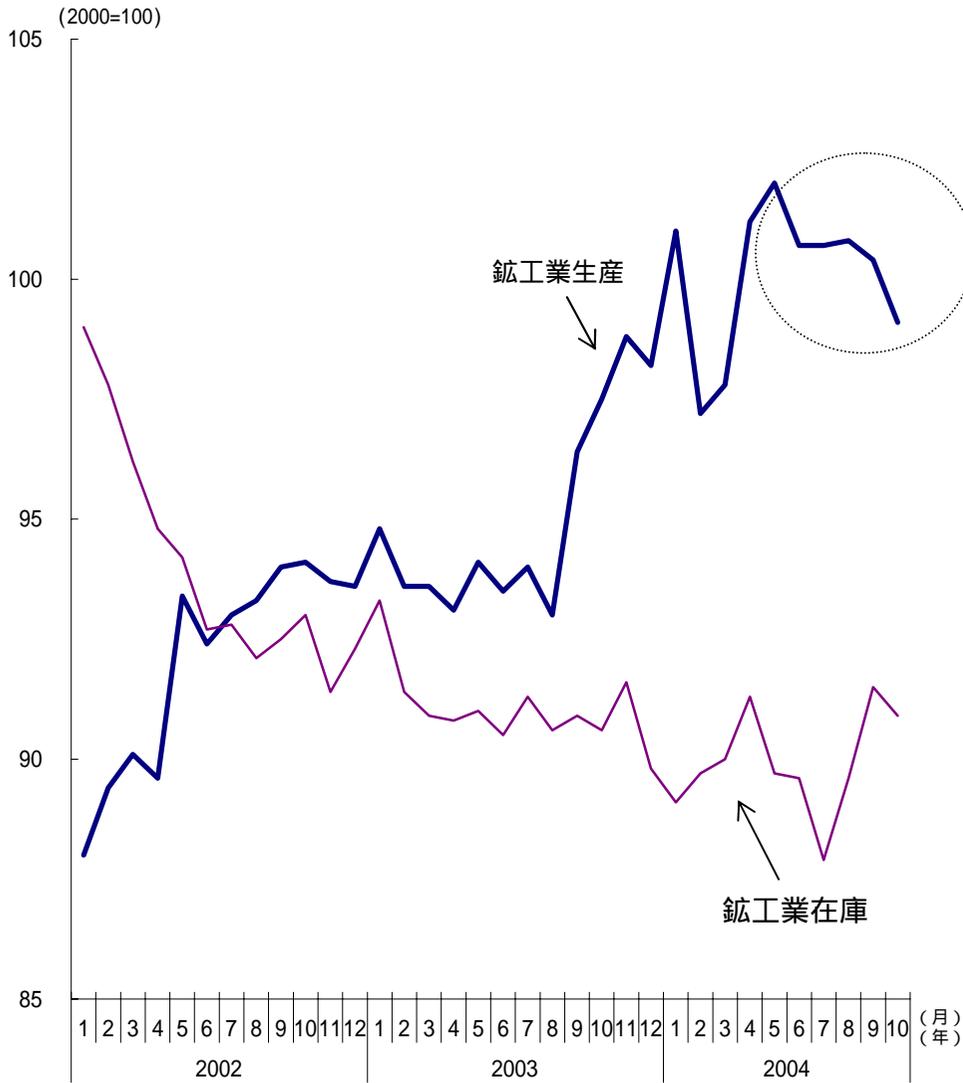
前回調査(9月)から上方修正



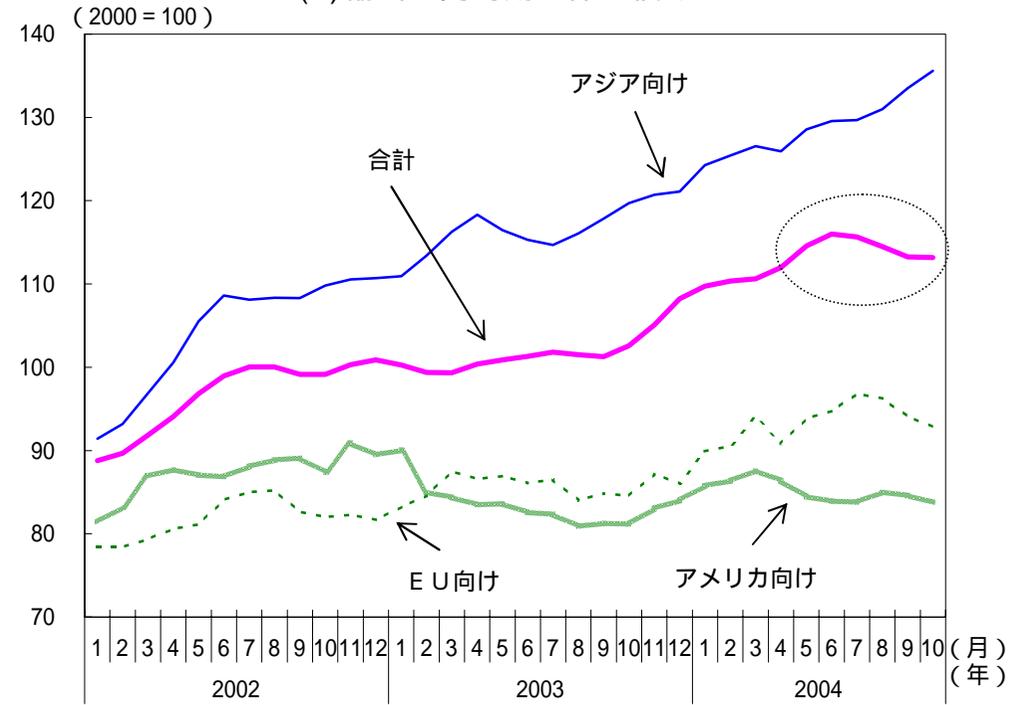
(備考) 日本銀行「短観」により作成。

生産は弱含み

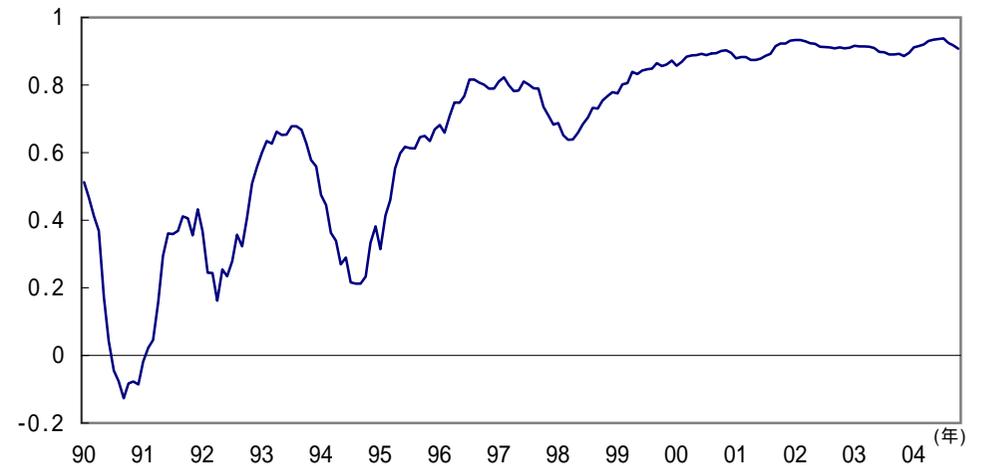
(1) 生産は、04年後半に伸び悩み



(2) 輸出も同時期に伸び悩み



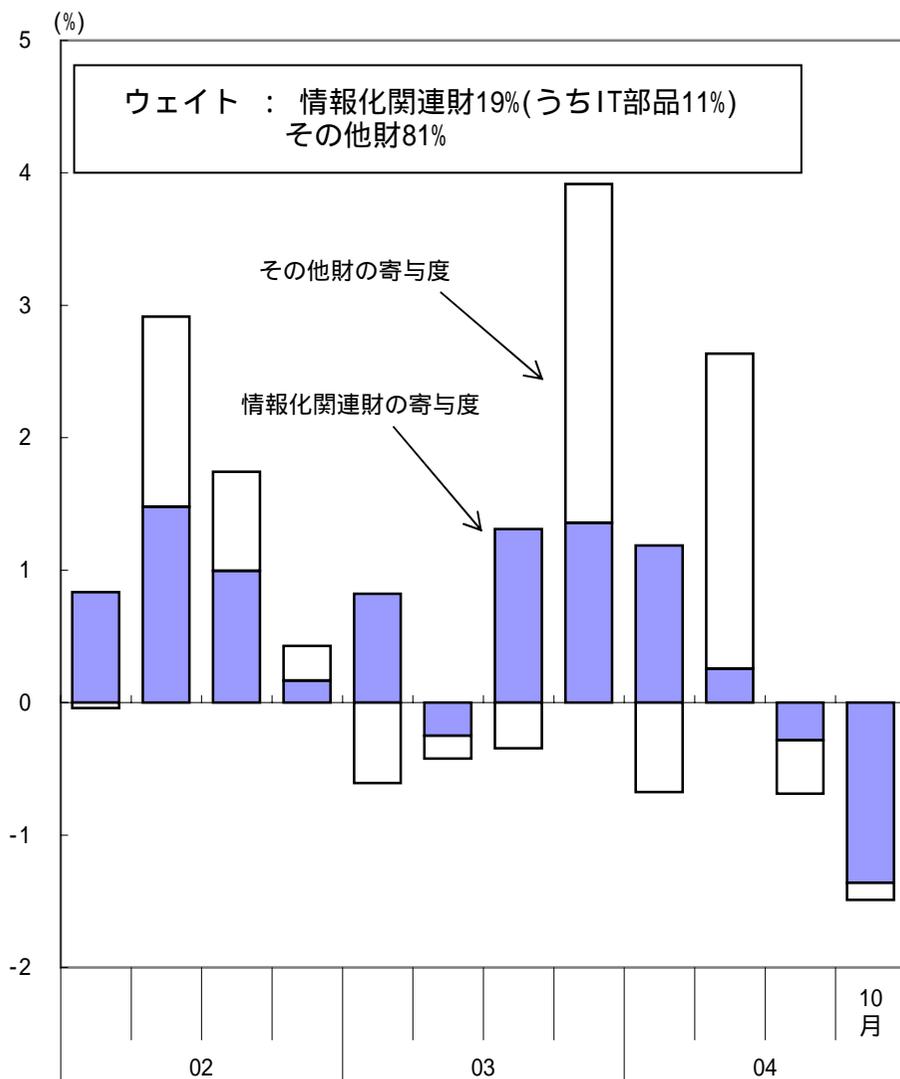
(3) 生産と輸出の相関は高まっている



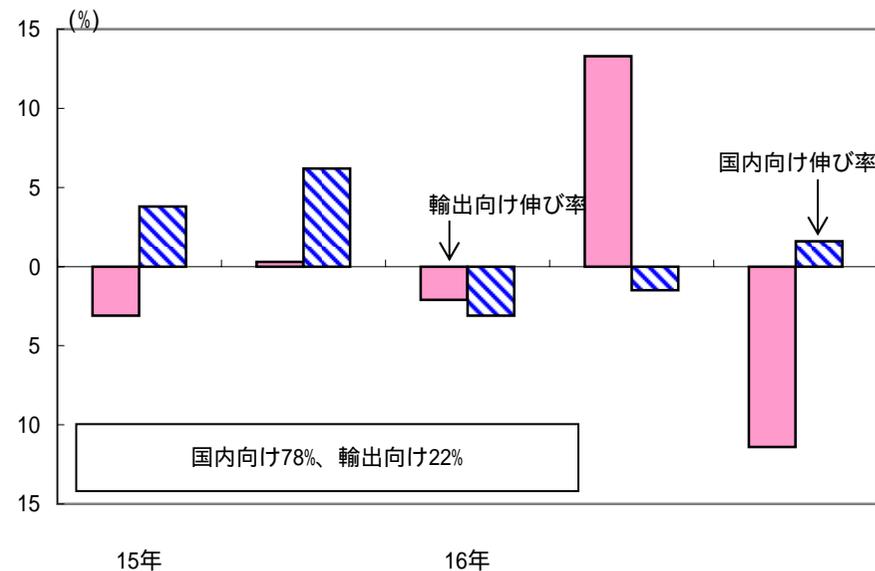
- (備考)
1. 経済産業省「鋳工業指数」、財務省「貿易統計」により作成。
 2. (1) 季節調整値、(2) 季節調整値の後方3ヶ月移動平均。
 3. (3) 鋳工業生産前年比と実質輸出(輸出金額/輸出価格指数)前年比の後方36ヶ月間の相関

生産は弱含み

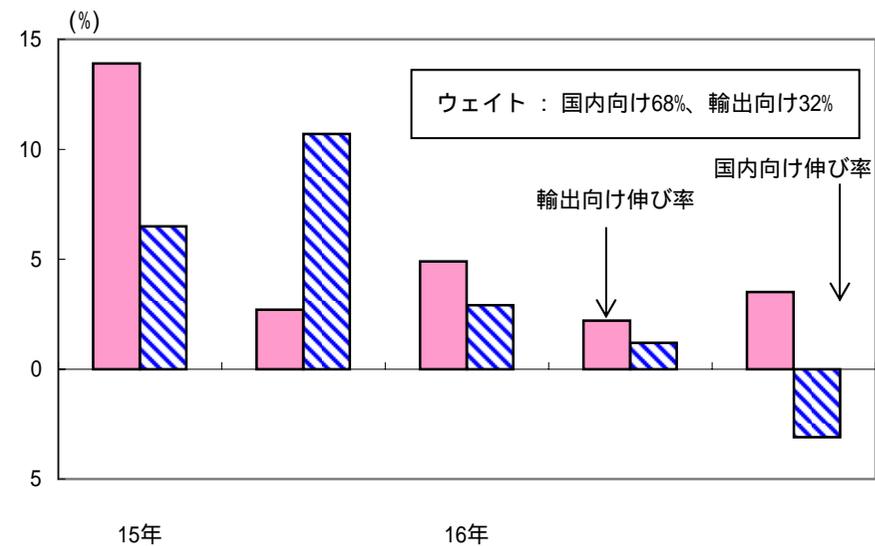
生産減少の主因は情報化関連財



情報通信機械は、輸出向けが減少 (デジタル家電、パソコン等)



電子部品・デバイスは、国内向けが減少 (半導体、液晶等)

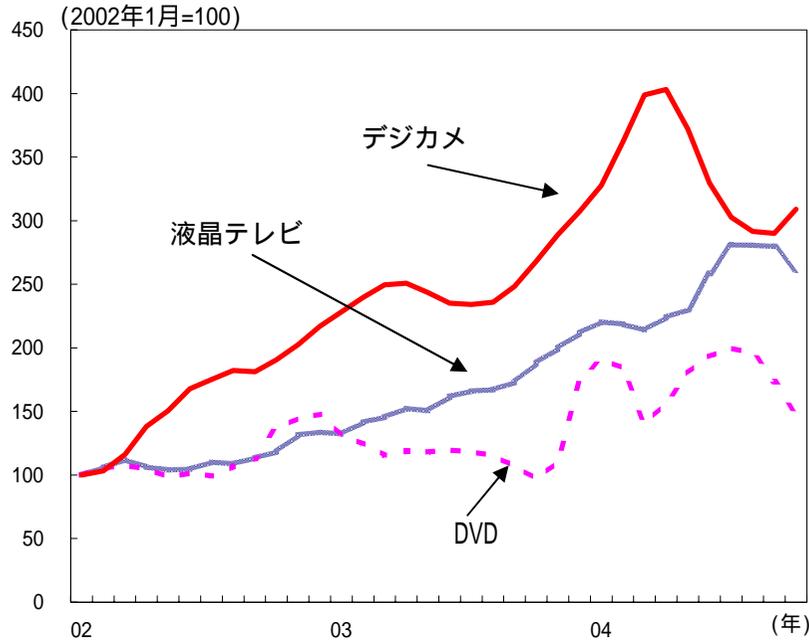


1. 経済産業省「鉱工業指数」、「出荷内訳表」より作成。季節調整値。ウェイトは2000年基準。
2. 左図：ここでの情報化関連財とは、鉱工業指数の情報化関連(生産・資本・消費)財に、半導体製造装置、半導体・IC測定器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、民生用電子機械(液晶テレビ、デジカメ等)を加えている。
10月の伸び率は、7-9月の平均からの伸び率。

生産は弱含み

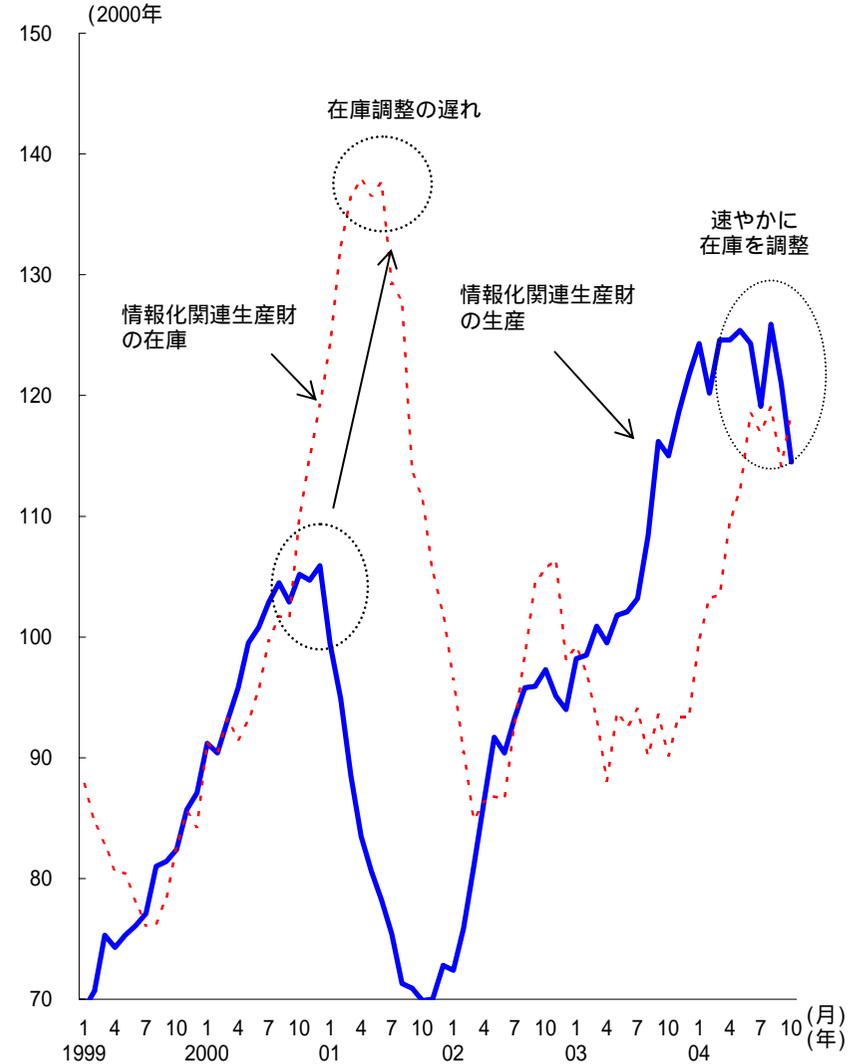
デジタル家電の出荷推移

今年後半以降、出荷は伸び悩み



ITバブル時との比較

情報化関連生産財では、早めの在庫調整



デジタル家電(デジカメ、液晶テレビ、DVD)の動向

液晶テレビ、DVD

五輪商戦の反動もあり、伸び悩んでいる。
米国では、リアプロジェクションテレビに押され、伸び悩み。

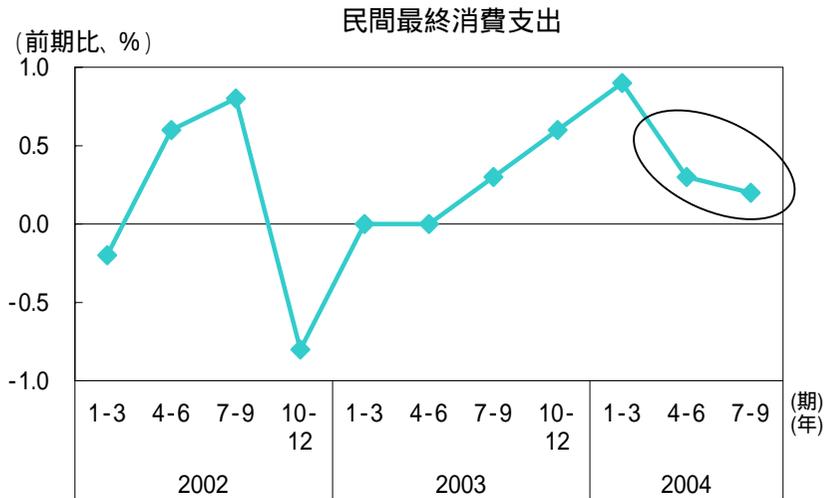
デジカメ

既に普及率が高く、大幅な成長は期待できず。

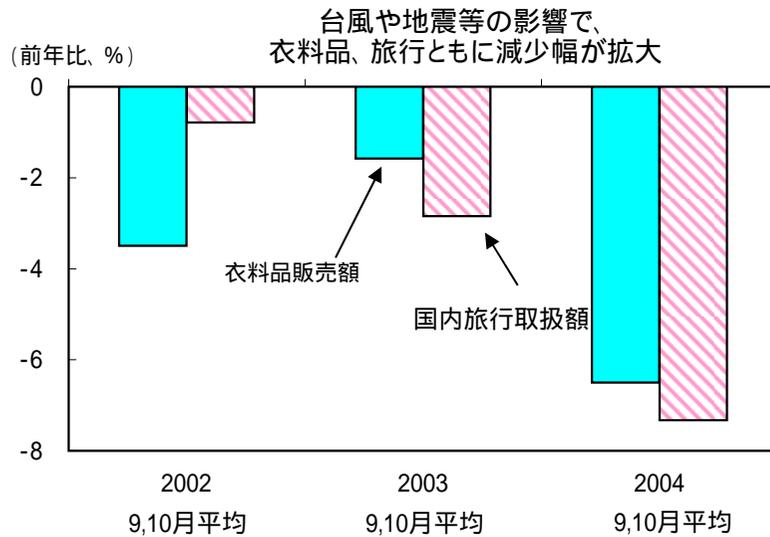
各製品とも、メーカーの競争が激化しており、
価格は大幅に下落している。

- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。
2. 左図は後方3ヶ月移動平均。

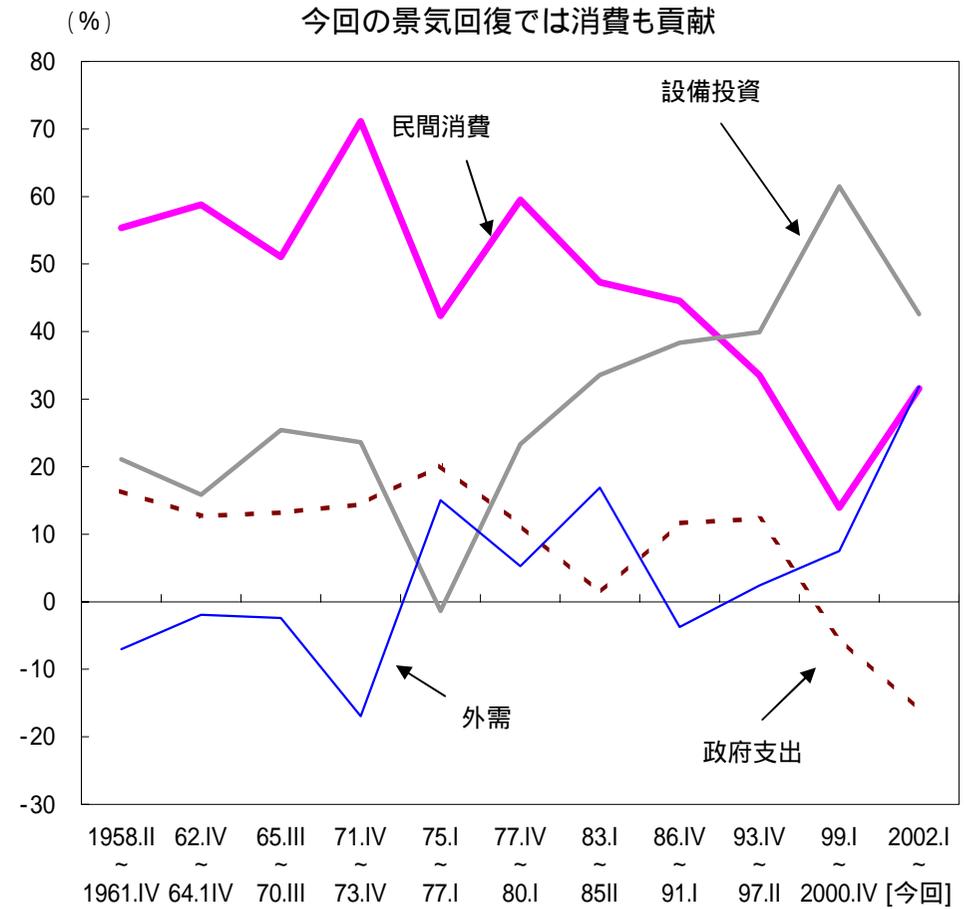
個人消費は、このところ伸びが鈍化している



(備考) 1. 内閣府「四半期別GDP速報」により作成。
2. 実質季節調整値。



(備考) 1. 経済産業省「商業販売統計」、大手旅行業者13社取扱金額により作成。
2. 衣料品販売額は、大型小売店の衣料品販売額。



(備考) 1. 内閣府「国民経済計算」、「景気基準日付」より作成。
2. 横軸は各景気循環における拡張局面の期間を表している。
3. 99年I期以降は連鎖方式のデータを用いている。

雇用情勢：厳しさが残るものの、改善している

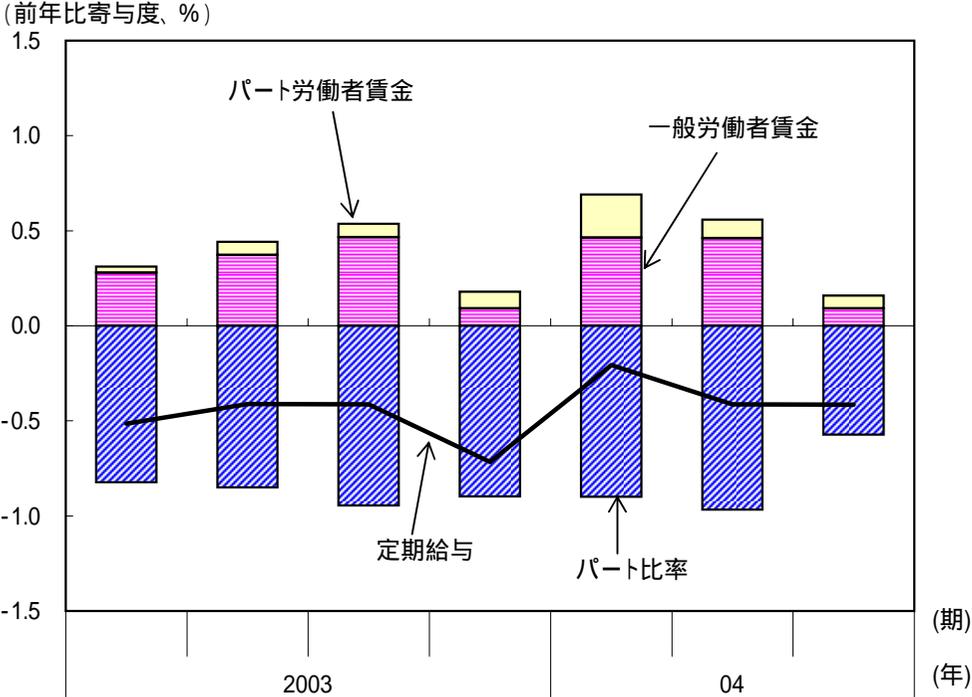
失業率：4.7%

有効求人倍率：0.88倍

(11年8ヶ月ぶりの水準)

定期給与(名目)の推移

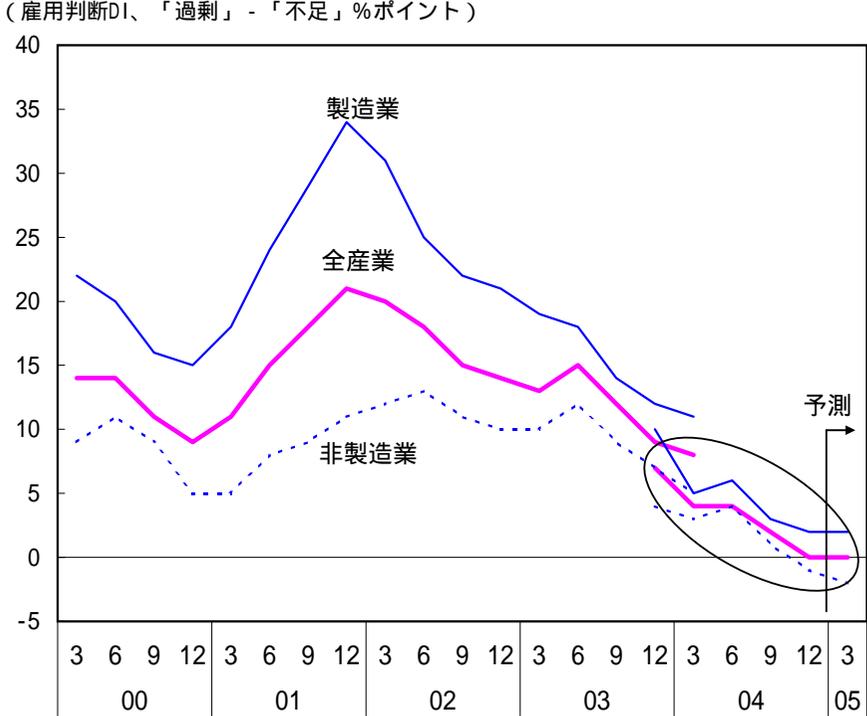
- ・パート比率の上昇が鈍化の一方、
- 一般・パート労働者の一人当たり賃金が伸び悩み



(備考) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」により作成。

企業の雇用過剰感の推移

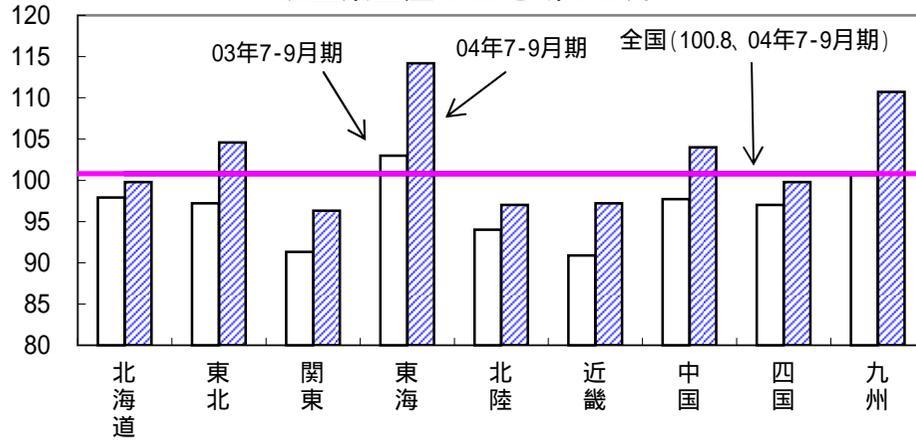
- ・全産業で雇用過剰感は解消(約8年ぶり)
- ・非製造業は「不足超」に



(備考) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。

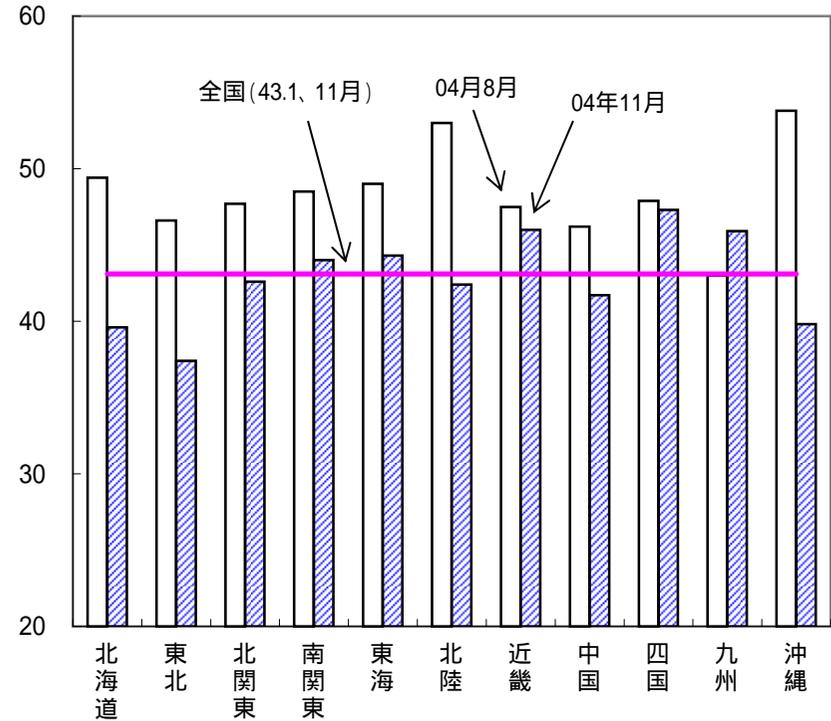
地域経済の現状

鉱工業生産は全地域で上昇



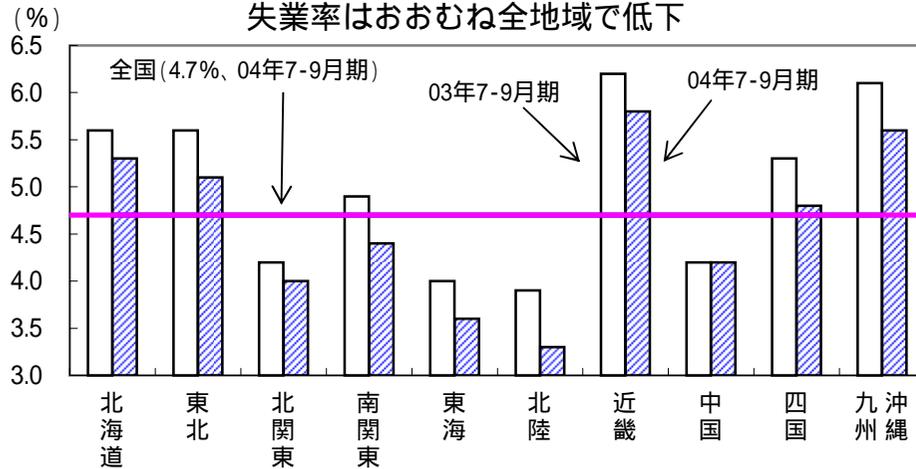
(備考) 各経済産業局「鉱工業生産動向」より作成。原数値。北陸04年は速報値。

消費関連の業況感はこのところ低下



(備考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。家計関連のDI。
デパートの店員やレストランスタッフ等消費関連企業に勤める人にヒアリング。

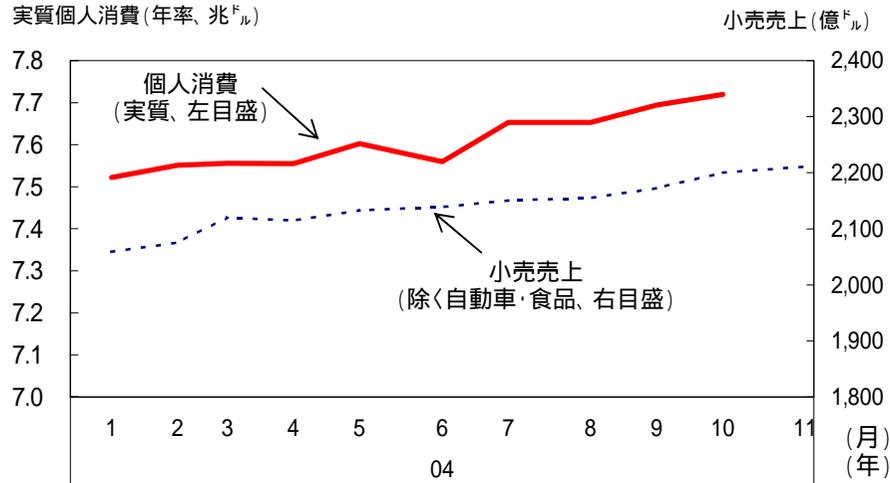
失業率はおおむね全地域で低下



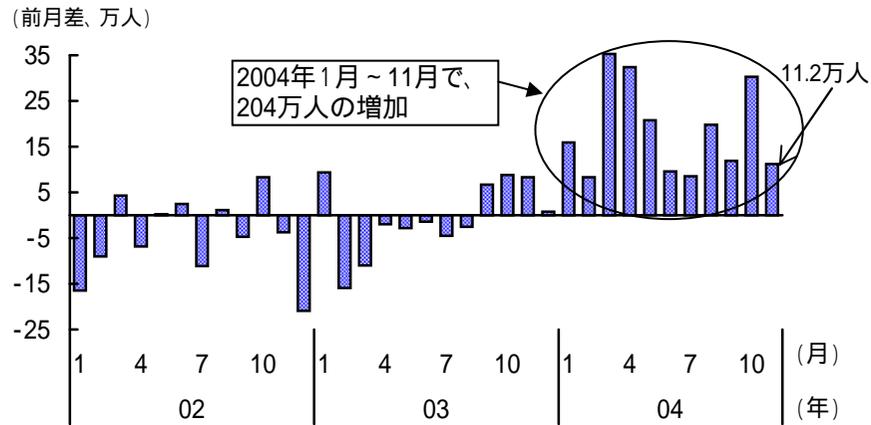
(備考) 総務省「労働力調査」より作成。原数値。

アメリカ経済の動向

消費:消費は持ち直しつつある。

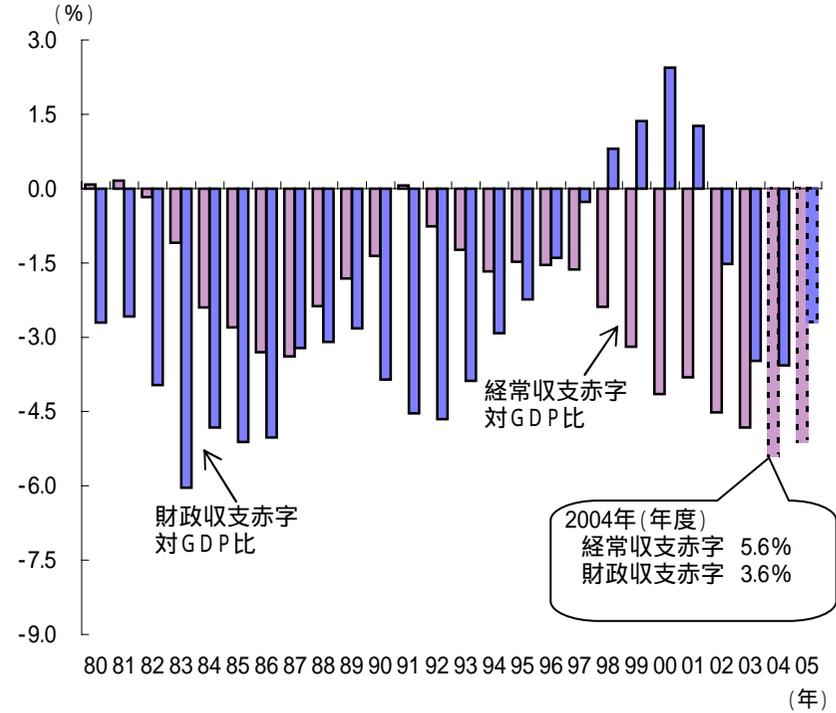


雇用:増加している



(出所)アメリカ商務省、アメリカ労働省

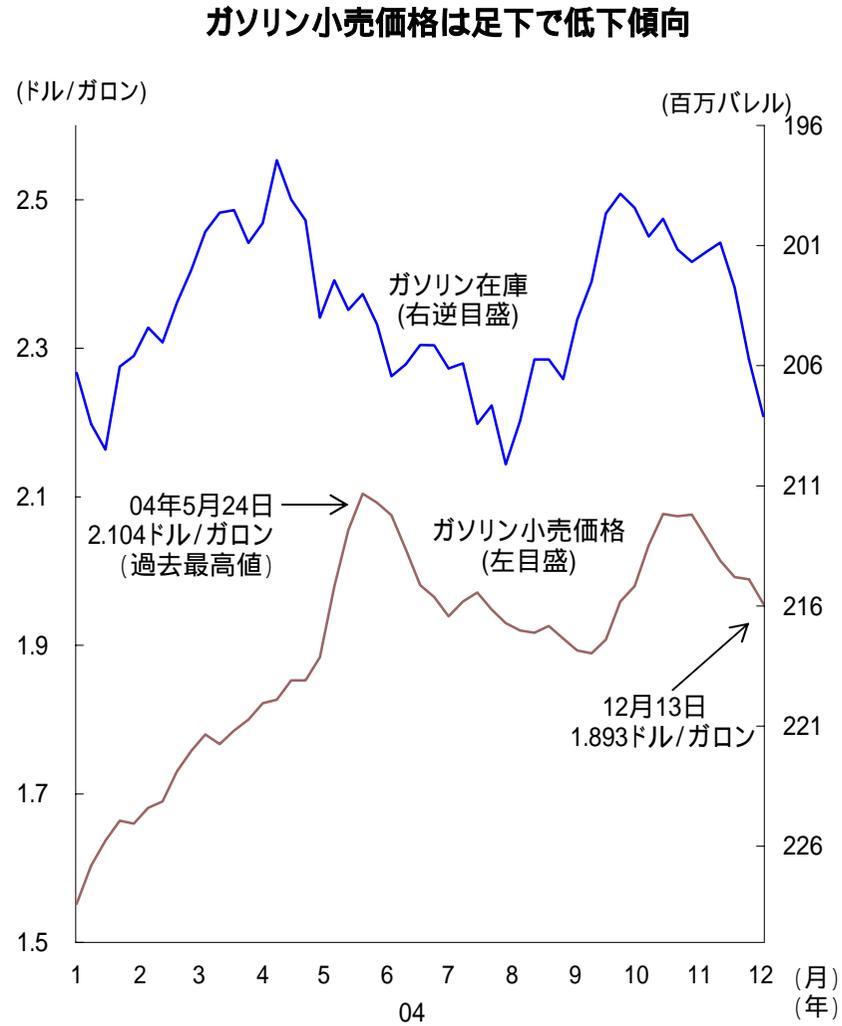
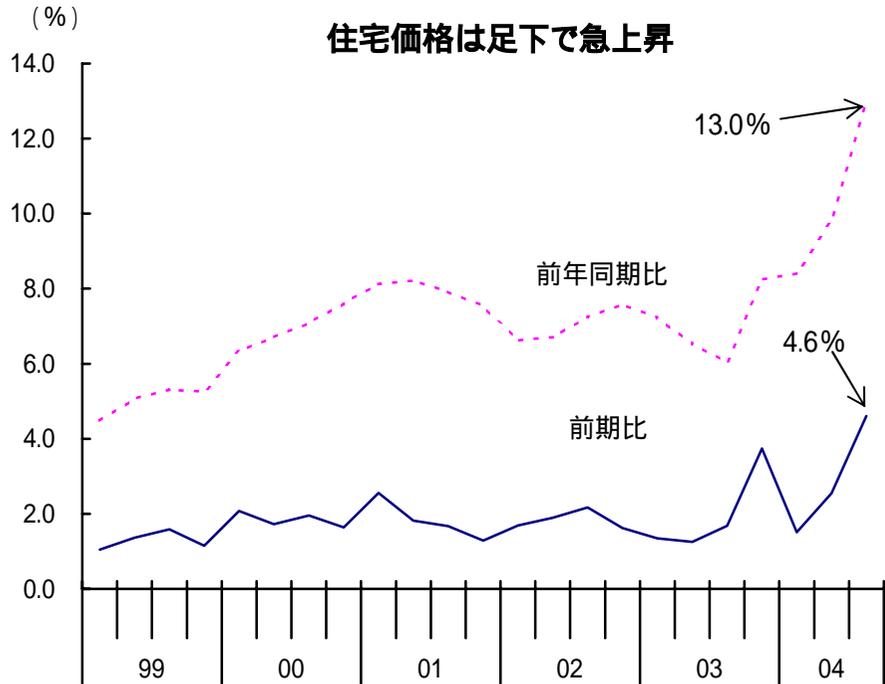
双子の赤字:経常収支赤字は過去最大
財政収支赤字も高水準



アメリカの貿易赤字国別シェア(2003年)
中国 23.3% EU 17.8% 日本 12.4%

(出所)アメリカ商務省、アメリカ財務省、
見通し部分は財政収支:アメリカ行政管理予算局 経常収支:IMF
(注) 経常収支は暦年値、財政収支は年度値。財政収支の04年は確定値。

アメリカ経済の動向



主要州における住宅価格の動向

- ・カリフォルニア州 前年同期比 27.2%
主要都市: ロサンゼルス市、サンフランシスコ市等
- ・ニューヨーク州 前年同期比 16.1%
主要都市: ニューヨーク市等

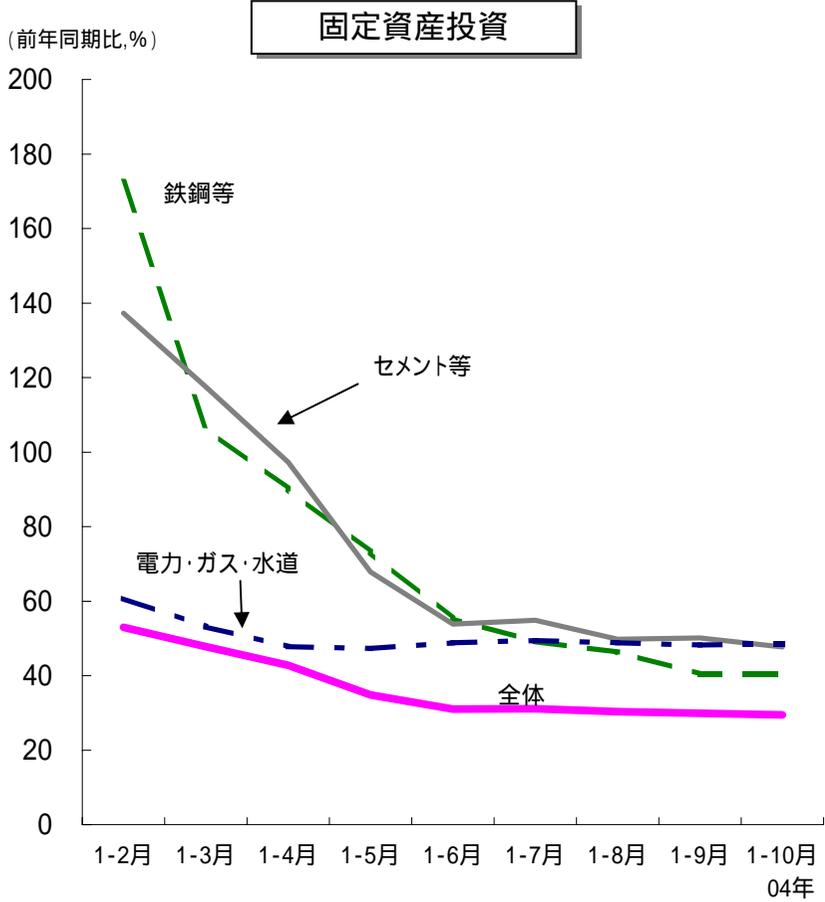
(出所) OFHEO: 連邦住宅機関監督局

(出所) IEA、データストリーム

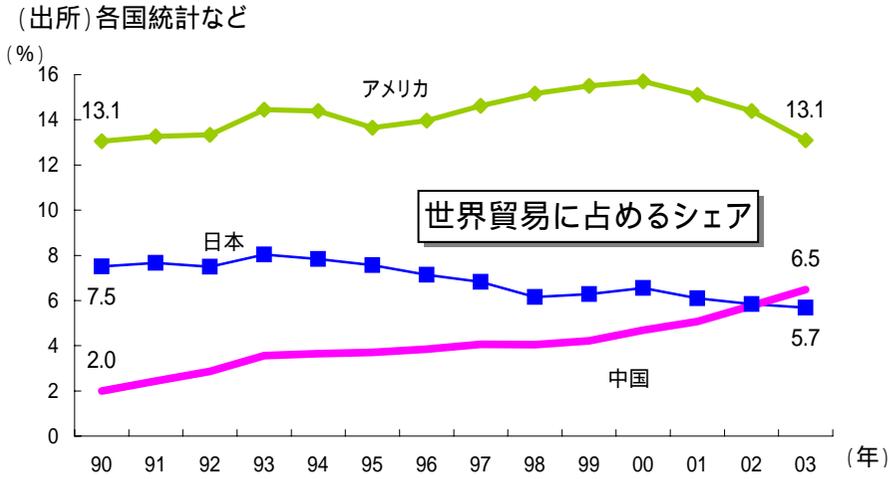
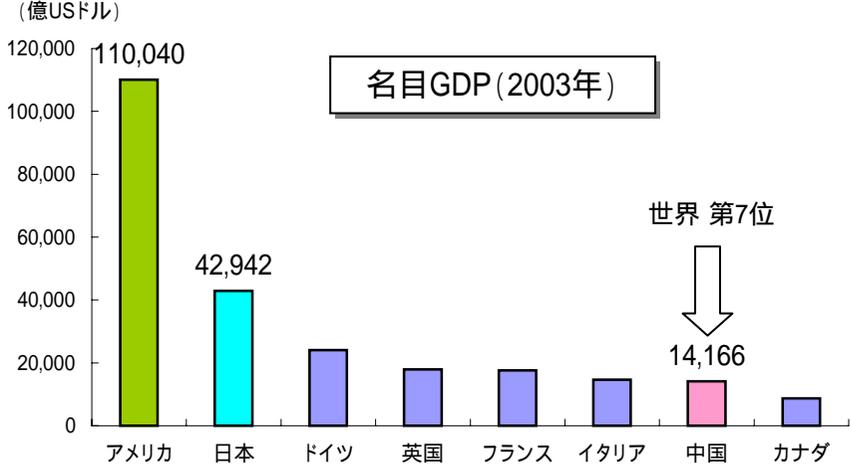
中国経済の動向 増大する影響力

中国:景気は拡大が続いている

-投資の伸びは低下したが依然として高い-



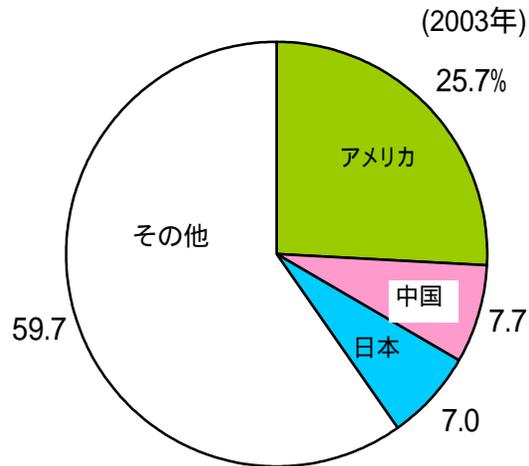
(出所)中国統計局



(出所)IMF

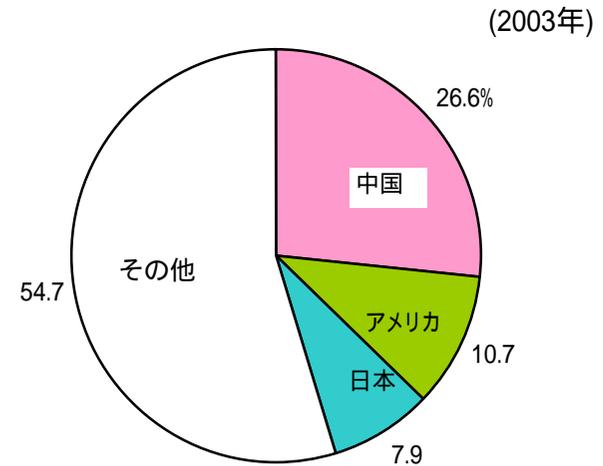
中国経済の動向 増大する影響力

原油消費の世界に占めるシェア



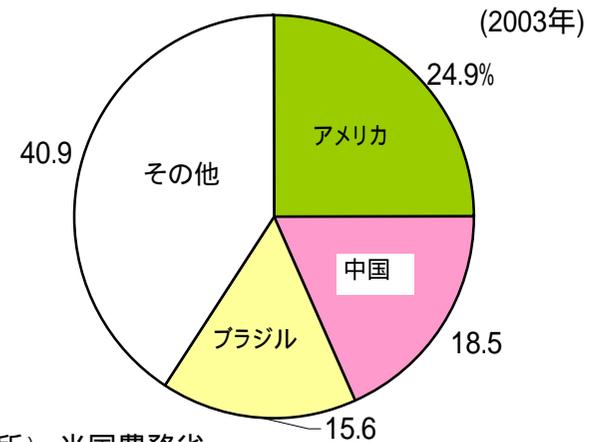
(出所) BP2004 Statistical Review of World Energy

粗鉄消費の世界に占めるシェア



(出所) 国際鉄鋼協会

大豆消費の世界に占めるシェア



(出所) 米国農務省

中長期的には水や電力の不足

【水不足】

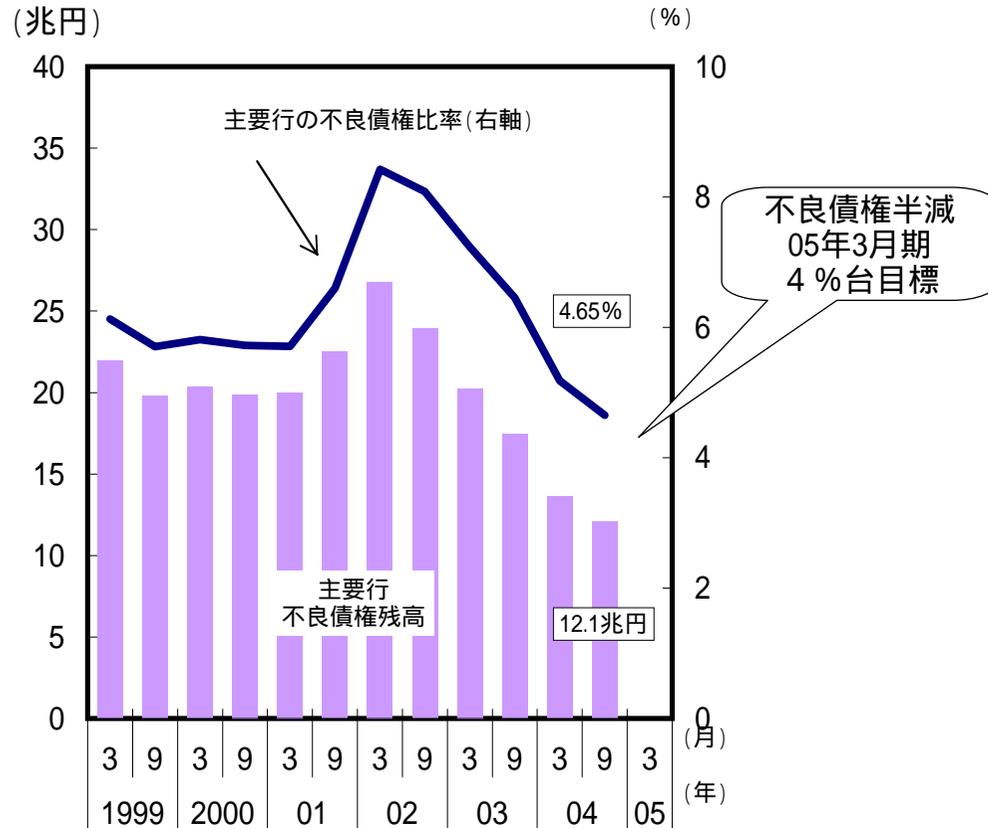
中国全体で60億立方メートルの不足(中国建設部発表、5月時点)。

【電力不足】

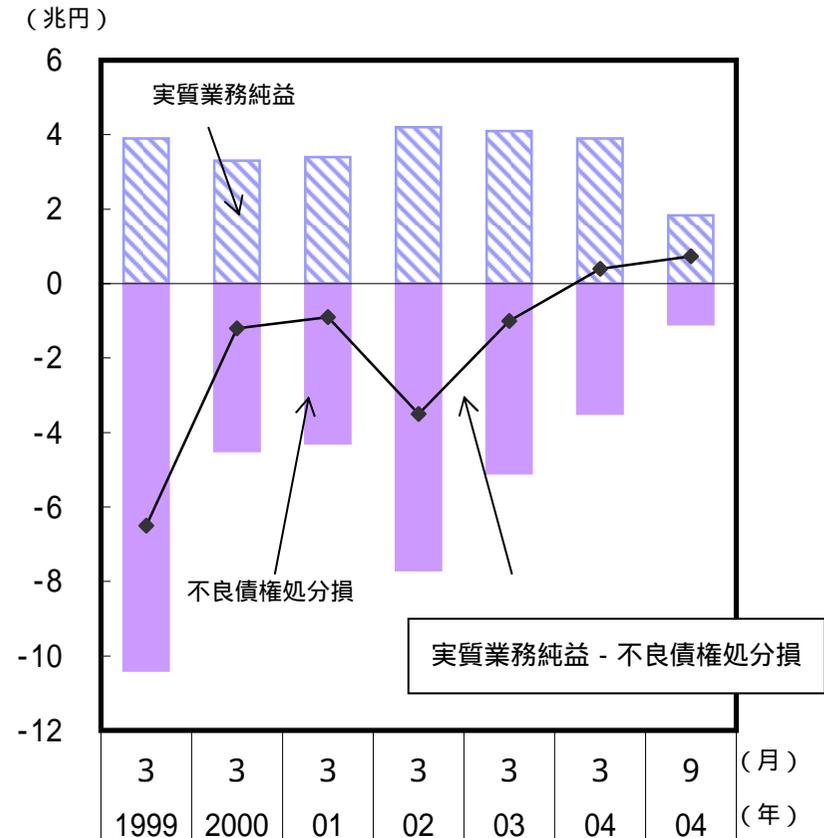
2004年ピーク時(夏期)の不足電力量は3000万kw(中国通信)。

主要行9月決算

不良債権処理は前進



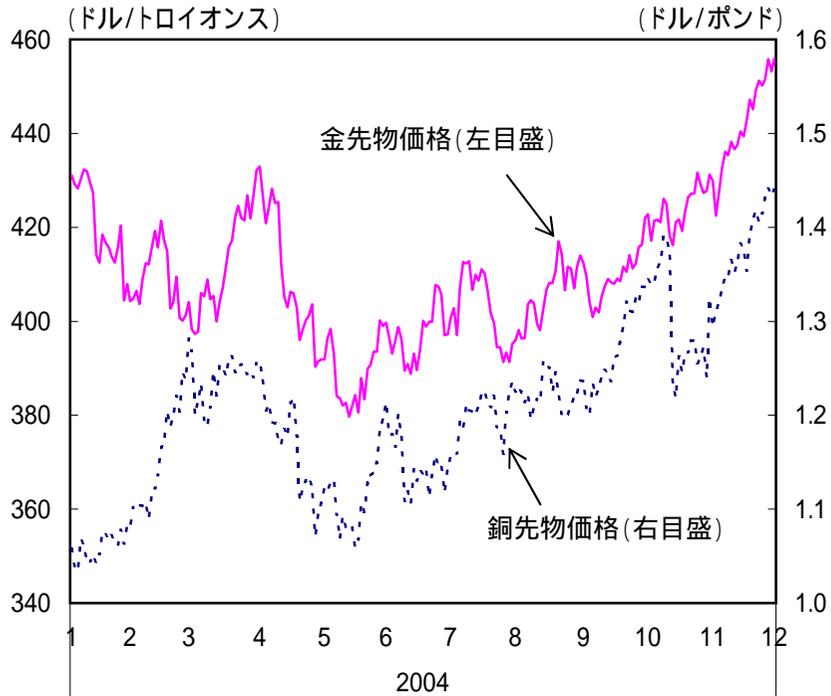
不良債権処理による損失は減少



- (備考) 1. 金融庁「主要行の決算状況」により作成。
 2. 2002年3月以降の主要行の数値は、都市銀行、信託銀行の合計11行のもの。
 みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行、東京三菱銀行、三菱信託銀行、
 UFJ銀行、UFJ信託銀行、三井住友銀行、りそな銀行、中央三井信託銀行、住友信託銀行
 を指す。
 3. 実質業務純益は、業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 (+ 信託勘定償却額)。

商品先物市場の動向

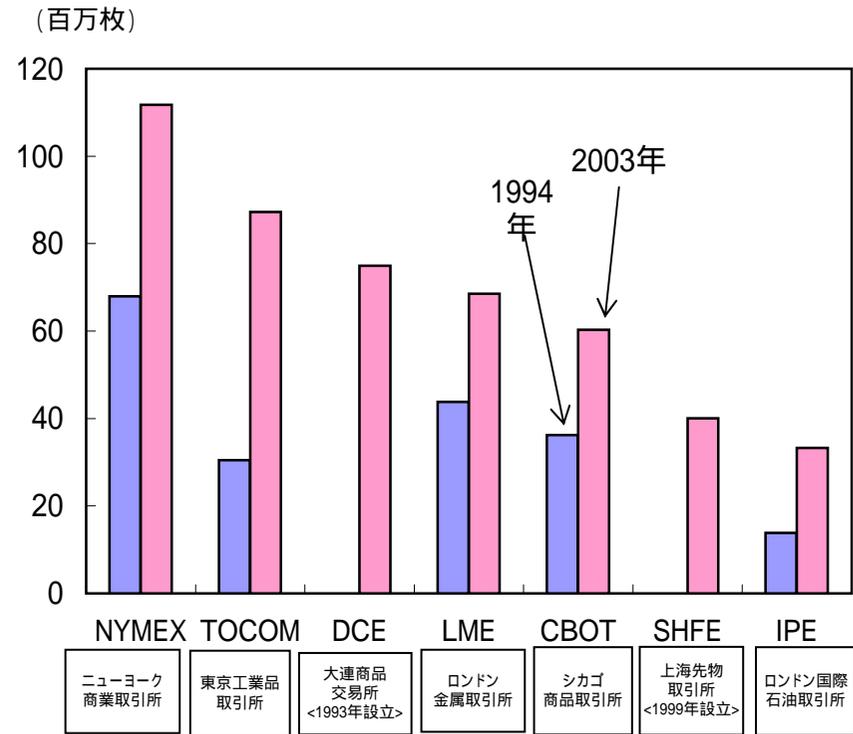
金・銅先物価格は約16年ぶりの高値を更新



(備考) Bloombergにより作成。

資源国の通貨も上昇
オーストラリアドル
カナダドル
南アフリカランド など

主要取引所の売買高



(備考) 1. 東京工業品取引所資料より作成。
2. 金額ベースでは、東京工業品取引所における取引金額(総約定代金)は、約170兆円(2003年度)。東京証券取引所の取引金額(総約定代金)は、約290兆円(2003年度)。

2004年のヒット商品

飲食品関係

伊右衛門

サントリーが京都の老舗茶舗「福寿園」と開発した緑茶飲料。初年度3400万ケースを販売。

ドラフトワン

サッポロが投入した「第3のビール」。販売数量は1700万ケースに。

芋焼酎

健康志向も加わってブレイク。原料芋は品薄で、人気の「森伊蔵」は偽物が登場。

家電関係

ななめドラム式洗濯乾燥機

松下電器のドラム式洗濯乾燥機。洗濯物を取り出しやすいデザインを採用。

ヘルシオ

シャープ製の高温の水蒸気で脂や塩分を落とし、焼き上げるオーブン。低カロリー調理。

i-Pod

アップルコンピュータの携帯型音楽プレーヤー。聴きたい曲を数千曲単位で持ち運び可能。

健康関係

黒酢

玄米を発酵させた黒酢が高血圧などに効果。体を引き締める効果があると、若い女性にも人気。

美脚パンツ

足を長く細く見せるパンツ。はるやま商事、オンワード樫山が発売した男性用がヒット。

コエンザイムQ10

細胞の老化現象に対抗する物質。肌や内臓の機能回復効果をうたう化粧品等が品薄に。

娯楽関係

冬のソナタ

韓流ブームの火付け役と言える純愛ドラマ。

マツケンサンバ

俳優 松平健のCD。ラテンのリズムに乗って派手な着流し姿で踊り、幅広い年齢層に人気。

ハルウララ

100戦以上の連敗を続ける競走馬。ハルウララ効果で高知競馬は15年度に12年ぶりの黒字に。